

# 長野県におけるキャリア教育

～生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて～

長野県教育委員会  
教学指導課 竹内宏枝



## キャリア教育の必要性

- ▶ 若者の「社会的・職業的自立」や「学校から社会・職業への円滑な移行」に課題
- ▶ 子どもたちが将来就きたい仕事や自分の将来のために学習を行う意識が国際的にみて低い
- ▶ 情報化やグローバル化など急激な社会的変化



- ▶ 社会全体で対応が必要
- ▶ 学校教育では **キャリア教育の推進** が求められている

# キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け  
必要な基盤となる能力や態度を育てる  
ことを通して、キャリア発達を促す教育

(中央教育審議会答申 平成23年1月)

## ○キャリア発達

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

## 「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」の要素

- 基礎的・基本的な知識・技能
- **基礎的・汎用的能力**
- 論理的思考力・創造力
- 意欲、態度及び勤労観、職業観等の価値観
- 専門的な知識・技能

## 基礎的・汎用的能力 について

「基礎的・汎用的能力 についてはキャリア教育の中心として育成していくべきこと」として、次の4能力を規定

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

## 長野県のキャリア教育の目標、方針

目標 社会的・職業的に自立した人間の育成

### 方針

- ① 家庭・地域の教育力を生かし、地域社会全体で子どもを育てる。
- ② 発達段階に即し、幼保・小・中・高が一貫した理念で子どもを育てる。
- ③ 各学校では、既存の取組や教育活動をキャリア教育の視点から見直し、体系化する。

# 平成24年度から「長野県キャリア教育支援センター」を設置

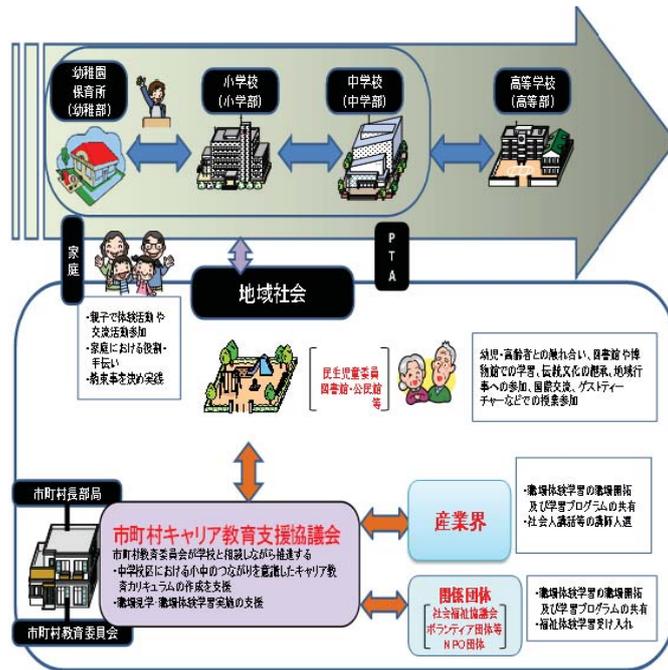
- ▶ 構成: 産業界・教育界・行政・ 関係諸団体の代表者
- ▶ 学校が地域・社会や産業界と連携したキャリア教育の推進
- ▶ 学校が望む支援と産官学の諸機関・団体が提供できる支援を結びつける

## 産学官等の諸機能、団体が連携する組織



# 市町村への支援

- ▶ 「市町村キャリア教育支援協議会」を中心とした学校を支える仕組  
(プラットフォーム)  
の構築支援



## 「ずく出せ修行」就業体験

- ▶ 高校生の就業体験の保険料を補助し、高校生就業体験を推進。
  - ▶ ずく出せ修行
    - ▶ 生徒が希望する職種について行う就業体験
  - ▶ ジョブ・シャドウイング
    - ▶ 専門性の高い就業者と行動を共にする
  - ▶ ジュニア・インターンシップ
    - ▶ 公共職業安定所を通して行う就業体験

# 先導的カリキュラム改革推進事業

- ▶ キャリア教育の改善・充実に取り組む学校を支援
  - ▶ 教科・科目の学習と将来の生活を結び付けて、学ぶ意義を理解させ、意欲を高めるキャリア教育
  - ▶ 課題探求的な活動の導入による地域課題対応能力の育成
  - ▶ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成

## 各県立高校では

- ▶ 各校が作成した「キャリア教育全体計画」に則ってキャリア教育を推進。
- ▶ キャリア教育についての職員研修が重要
- ▶ 平成27年度入学生は、高校生全員が卒業までに就業体験活動を行うことを目標。
- ▶ 各教科でキャリア教育の視点を加えて指導する。

教科指導にキャリア教育の視点を入れること

生徒は、学習している内容と社会との関係、学ぶ意味、大切さを実感、理解する



- ① 意欲向上・学習習慣形成 → 学びに向かう力
- ② 社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力が育つ

## 今後の方針

- 社会的・職業的に自立した人間の育成のため、キャリア教育を中核とした学習の推進
- 小・中・高のキャリア教育カリキュラム構築の支援
- プラットフォームの取組状況の把握と発信